

生 活

東 京 書 籍  
大 日 本 図 書  
学 校 図 書  
教 育 出 版  
信 州 教 育 出 版  
光 村 図 書  
啓 林 館  
日 本 文 教 出 版

令和元年度

中高・飯水地区小中学校教科用図書採択研究協議会

(種目：生活)

発行者名 採択基準	東京書籍（あたらしいせいかつ）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分や自分の周りの人々、社会及び自然の特徴やよさに気付いている児童の姿が具体的に分かるよう配慮されている。</li><li>・写真や挿絵によって、見付けたり比べたり、多様な学習活動例を示し自分が気付いたことをもとに考えられるよう配慮されている。</li><li>・自分のよさや可能性に気づき、意欲や自信を持って生活を豊かにできるよう配慮されている。</li></ul>
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等〕	<ol style="list-style-type: none"><li>(1)入学直後の学校生活に対応できるように、スタートカリキュラムを位置付け、安心して生活を始められるよう配慮されている。</li><li>(2)身近な自然や地域の人々と関わって見つけた「まちのよさ」を感じ更に発信する等地域への愛着を深められるよう工夫されている。</li><li>(3)気づきを確かなものとしたり関連付けたりして、気付いたことを表現し交流する学習活動が随所に掲載され、興味・関心・意欲を喚起し、伝え合う活動の充実が図られるよう工夫されている。</li><li>(4)一人一人の活動や気づきを多様な方法で表現する学習活動が発達段階の特性に応じて、上巻と下巻で適切に配慮されている。</li><li>(5)A4版の大判を生かし、淡い色合いのイラストや対象物と児童が一度に目に入る写真等が掲載され、活動への意欲や期待感が高まるよう工夫されている。</li></ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価〕	<ol style="list-style-type: none"><li>(1)季節の流れを軸に時系列で構成され、他教科とも関連付けながら資質・能力・技能が段階的に高まるよう配慮されている。</li><li>(2)植物の成長順序を捉えやすい変形判ページや、取り外して屋外に携行できる実物大の動植物図鑑が添付され、児童が生活の中で動植物を見付けやすいよう配慮されている。巻末の「べんりてちょう」では、見つける、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫するなどの思考を促す学習活動が展開できるよう配慮されている。</li><li>(3)季節を通して鳥瞰図が設けられ、自分の地域を繰り返し探検する中で季節を体得し、社会的な見方・考え方の基礎につながっていく過程が分かるよう配慮されている。</li><li>(4)「学びをふかめる」が設けられ、気づきを確かなものとしたり、気付いたことを関連付けたりする主体的・対話的で深い学びの姿が分かるよう配慮されている。</li><li>(5)写真や挿絵の言葉が分かりやすく、小単元名や本文、マーク、安全・衛生面など、誌面の同じ場所に掲載されるよう工夫されている。</li><li>(6)自分で生活を振り返る自己評価や、友だちと互いのよさを認め合う場面が設定され、指導に役立つよう配慮されている。</li></ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"><li>・挿絵の登場人物が成長していく姿から、生活科の学びを実現する姿が見え、授業改善の手がかりになるよう配慮されている。</li><li>・「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を示し、保護者と一緒に関けるよう配慮されている。</li><li>・巻末の「べんりてちょう」をはじめ、豊富な資料で、児童の思考を促し、児童の学びを支えるよう配慮されている。</li></ul>

(種目：生活)

発行者名 採択基準	大日本図書（たのしいせいかつ）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"><li>・具体的な活動や体験から、人との接し方、学校や地域、家庭でできる生活習慣や生活技能等が身につけられるよう配慮されている。</li><li>・子どもたちに投げかける言葉の例を示すことで、児童自身が考えるきっかけをもち考える時間を保障し、思考力が育まれるよう配慮されている。</li><li>・児童の思いや願いをもとに、次の活動へとつながる流れを意識した構成になるよう配慮されている。</li></ul>
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性  〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 〕	<ol style="list-style-type: none"><li>(1) スタートカリキュラムに配慮したページを設け、指示ではなく児童が考え選び、実行する流れを意識し、その後の教科学習の素地となるよう配慮されている。</li><li>(2) 身近な人々、社会及び自然を学習の対象とし、繰り返し対象とかわかり、自分との関係の中で活動できるよう工夫されている。</li><li>(3) 友だちとの伝え合い、クラスでの話し合いの場面や板書を繰り返し取り上げ、一人一人が思いを深められるよう工夫されている。</li><li>(4) 街探検した場所に休日に行ってみるなど、生活科の活動が自分の生活に生かされていく場面を取り上げ、自分の生活を豊かにしようとする資質・能力を育成するよう配慮されている。</li><li>(5) サイズの違うページや透明シートを使用した仕掛けのあるページ、モノクロ表現でイメージを膨らませるページを設け、学習意欲を高められるよう配慮されている。</li></ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  〔 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 〕	<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 単元の配列は、動植物の成長、自然の変化などの季節や時間の経過を考慮するとともに、学校行事との関連も図りながら、活動できるよう配慮されている。</li><li>(2) 巻末の資料「がくしゅうどうぐばこ」に豊富な資料を掲載し、児童が活動に即して基本的な知識や技能の習得が図れるよう配慮されている。</li><li>(3) 身近にあるものを使って遊びに使うものを作る場面を多数掲載し、キャラクターや教師の投げかけに気付きの質を高めるヒントを示し、児童自身が気付きの質を高められるよう配慮されている。</li><li>(4) 相手からの感想や意見をもらう場面や「せいかつことば」「きらきらことば」を設け、人との交流活動のよさや楽しさを味わい、気付きの質が高めることができるよう配慮されている。</li><li>(5) 諸感覚を活用することを促す仕掛けを盛り込み、児童が体全体をつかって、直接対象に働きかける生活科特有の学びが、実現できるよう配慮されている。</li><li>(6) 活動の成果を互いに認め合ったり、過去の自分と比較して自分の成長に気付いたりできるよう工夫されている。</li></ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"><li>・諸感覚を活用した活動・体験を重視し、児童を、実感の伴った理解に導くよう配慮されている。</li><li>・他教科との関連を意識し、合科的・関連的指導が効果的と思われる場面には、マークがあり、すぐに分かるよう配慮されている。</li></ul>

(種目：生活)

発行者名 採択基準	学校図書 (みんなとまなぶ)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 基本的な知識及び技能の基礎、安全に関する事項を各種コーナーで学習できるよう工夫されている。</li><li>・ 発達段階に応じて、対話の場面を設定し、思考を深め、豊かな表現力が身につくよう配慮されている。</li><li>・ 振り返りの場面を大切にし、自分のよさや成長に気づいたり、自己肯定感が高まったりするよう配慮されている。</li></ul>
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"><li>(1) スタートカリキュラムを設け、活動や体験の場が、1年生では学校周辺、2年生では地域へと、空間認識の発達に応じて広がるよう配慮されている。</li><li>(2) 4人のキャラクターが登場し、発達段階を踏まえて、広がりや深まりのあるものに変化するよう、活動の場が広がるよう配慮されている。</li><li>(3) 児童の言葉を基にしたリード文と活動の楽しさを伝える写真やイラスト・単元マーク、吹き出し等が、児童の興味・関心、主体的な活動を引き出すよう工夫されている。</li><li>(4) 「ものしりノート」や巻末の「まなびかたずかん」が充実しており、児童が自分で活動を広げていけるよう配慮されている。</li><li>(5) 写真や挿絵は、鮮明に印刷され、表記、表現は児童の発達段階や国語の学習との関係を考慮し、児童の負担にならないよう配慮されている。</li></ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 探検、栽培、飼育、遊び、成長の5つの大単元で構成され、活動をイメージしやすいマークを配すと共に、他教科と関連させて学習がすすめられるよう配慮されている。</li><li>(2) 活動ごとに大単元で構成され、地域や学校、児童の意識の実態に応じて、学習時期が組み替えられるよう配慮されている。</li><li>(3) 素材や教材が複数提示され、地域や学校の実態、児童の興味・関心に応じ選択して、繰り返し扱えるよう配慮されている。</li><li>(4) 4人のキャラクターによる様々な交流場面が示されており、児童が伝え合ったり、交流したりする活動のヒントとなるよう配慮されている。</li><li>(5) 誌面いっぱいのダイナミックな写真が使用され、児童の活動意欲を引き出すとともに、活動内容や活動の流れが見通せるように工夫されている。</li><li>(6) 具体的な活動の場面ごとに、学習の振り返りの参考となる学習カードが例示され、活動を振り返りながら自己の成長を自覚できるよう配慮されている。</li></ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 探検、栽培、飼育、遊び、成長と5つの大単元で構成され、連続した活動や子どもの変容した姿が示されているので、児童が自分の成長に気付けるよう配慮されている。</li><li>・ 4人のキャラクターの話し合いの場面から、対話を通して自分の考えを深めたり他人を思いやる気持ちも大切にしたりしながら、豊かな人間性を育むよう配慮されている。</li></ul>

(種目：生活)

発行者名 採択基準	教育出版（せいかつ）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"><li>・育む力を6つ抽出して、基本的な知識及び技能の基礎、安全に関する事項を各ページのヒントコーナーや巻末で学習できるよう工夫されている。</li><li>・表現活動が系統的に設定されており、発達段階に応じて、思考を深め、豊かな表現力が身につくよう配慮されている。</li><li>・自信を培ったり、自分のよさに気付いたりできるよう配慮されている。</li></ul>
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 幼児期に習得したことを生かして、ゆったり安心感がもてるようスタートカリキュラムが盛り込まれ、活動内容や情報量が徐々に豊かになるよう配慮されている。</li><li>(2) 地域や学校の実情に応じて、全国各地の特色ある写真を用いて活動が深まるよう工夫されている。</li><li>(3) 生活科で育成する資質をサイコロで表現するなど、学習のねらいやポイントが具体的な言葉で示されており、児童の学習意欲を喚起し、自ら目標をもって学習に取り組むことができるよう配慮されている。</li><li>(4) 巻末の「学びのポケット」において、学習を進めていく上で参考になるスキルをまとめて掲示し、繰り返し活用することで生活を豊かにしていくための資質・能力を身につけられるよう配慮されている。</li><li>(5) 吹き出しや、表情豊かな写真やさし絵などで示し、児童が動き出したくなるよう配慮されている。</li></ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"><li>(1) サイコロマークを使って教科目標から抽出した「育つ6つの力」を示し、他教科との関連や生活科の特質に応じた適切な指導がなされるよう配慮されている。</li><li>(2) 継続的に探求心を育てるために「もしもページ」を設定し、情報機器を用いながら、子どもたちの主体的な学びを後押しできるよう配慮されている。</li><li>(3) 日本の伝統的な食べ物、行事・祭事を扱うなど、季節の変化と生活とを結びつけ、自分の生活への興味・関心がもてるような配慮がなされている。</li><li>(4) 身近な人々との関わりや交流を通して学習が高まり、深まっていくよう配慮されている。</li><li>(5) 学習に応じた吹き出しや、表情豊かな写真やさし絵などにより、児童の興味関心をかき立てるよう工夫されている。</li><li>(6) 学習を振り返る小単元末には書き込みコーナーや「まんぞくハシゴ」が用意され、自己評価や友だちとの互いのよさを認め合う相互評価の場が設定され、指導に配慮されている。</li></ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"><li>・「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」を大切にして、ページごとにヒントや約束のコーナーを置いて、発達段階や他教科と関連付けた学習ができるよう配慮されている。</li><li>・「ヒント」コラムなどから、見つける、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫するなどの学習活動を繰り返し提示して、学習を進められるよう配慮されている。</li></ul>

(種目：生活)

発行者名 採択基準	信州教育出版社（せいこつ）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域に生まれ、地域に育つ子どもが、四季を通してその場所に関わりながら、社会事象、自然事象、自分自身について気付けるよう配慮されている。</li><li>・動植物との継続的な関わりや四季を通じた直接体験の中で、命のドラマを体験できるような対象への働き方や比較、分類等ができるよう配慮されている。</li><li>・自分の生活・成長・地域との関わりが自覚できるような振り返りの場面を大切にしている。</li></ul>
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 入学直後の児童が安心感をもてるようにスタートカリキュラムのページを掲載して、発達段階に応じて児童の興味・関心が広がり深まっていくよう大切にしている。</li><li>(2) 身近な人々や地域、動植物等、2年間を通して繰り返し学びながら、生活・成長・地域との関わり方などを振り返る単元構成となっており、より深い学びにつながるよう配慮されている。</li><li>(3) 「感動体験」「探究体験」「表現活動」を多様に示し、より深い学びにつながるよう、友だち同士の学び合いや情報交換の場が位置づけられるよう配慮されている。</li><li>(4) 「子どもの願いから立ち上がる端緒」や意識の高まりを、吹き出しや、表情豊かな写真やさし絵などで示し、活動が学びの深まりや広がりにつながるよう配慮されている。</li><li>(5) 児童の意識に添った本文、吹き出し、観音開きページの使用、対話等により、児童の思考を深められるよう配慮されている。</li></ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 地域に生まれ、地域に育つ子どもが、四季を通してその場所に関わることを重視した内容構成となっており、他教科、総合的な学習の時間と関連づけられるよう配慮されている。</li><li>(2) 動物や植物との継続的なかかわりを大切に、息の長い活動を位置づけ、家庭・地域との連携も大事にしながら、主体的に取り組んで課題を乗り越えていく構成となるよう配慮されている。</li><li>(3) 地域に生まれ地域に育つ児童が、四季を通して繰り返し直接体験したり、季節の変化と関わりのある信州で大切にしている伝統的な行事を調べたり、試行錯誤しながら活動したりできるように配慮されている。</li><li>(4) 吹き出しやさし絵の中に、友だちや家族、地域の人々と交流活動が行われている様子が示され、自分の生活・成長が自覚できるよう配慮されている。</li><li>(5) 県内の学校の実践から生み出された学習内容は、子どもたちの学習実態に即しており、さらに写真やさし絵、文章、作品などが、地域性や季節感を感じ、児童にとって身近で親しみやすい構成となるよう配慮されている。</li><li>(6) 友だち同士の学び合いや情報交換の場、発表会などが位置づけられ、自己の学びを表現することができるように配慮されている。</li></ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"><li>・児童の願いから学習活動が立ち上がるように工夫され、自らの課題をもちながら学習できる展開になるよう配慮されている。</li><li>・「人間愛」の育成を基本理念におき、長野県の特徴にあった生活に根ざした学習内容となるよう配慮されている。</li><li>・県内の学校から生まれた様々な実践をもとに学習内容が構成され、地域に生まれ、地域に育つ子どもの願いを大切にしながら、四季を通してその場所に関わることを重視して活動できるよう配慮されている。</li></ul>

(種目：生活 )

発行者名 採択基準	光村図書 (せいかつ)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"><li>・児童が身近な人々、社会、自然と継続的に関わる中で対象の特徴やよさや楽しさを感じられるよう配慮されている。</li><li>・全単元に設定された「どうすれば」コーナーで、児童が物事を自分と関わらせ、表現し考えを深められるよう具体的な姿で示されている。</li><li>・自分が目的意識をもって活動にのぞみ、自ら考え、判断しようとする態度を身に付けられるよう配慮されている。</li></ul>
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等〕	<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 児童が自信を持って学校生活を始めることができるようスタートカリキュラムを位置付け、言葉や文章も発達段階を考慮した表現で書かれ、また中学年への接続も意識した多様な活動内容の例示により、学びをつなぎ活動意欲が持てるよう配慮されている。</li><li>(2) 各単元が「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で構成され、学習のスタートからゴールまで見通しながら、学習が深まるよう紙面化で工夫されている。</li><li>(3) 単元名や各ページの見出しが、児童の言葉で表現され、興味・関心を引き出せる工夫がされ、児童の活動や発見などを交流し合えるよう配慮されている。</li><li>(4) 多様な活動の気付きやヒントがイラストや写真で掲載され、児童の活動が広がっていくよう配慮されている。</li><li>(5) 児童に分かりやすい言葉や単元の内容に合ったイラスト・写真により、活動の流れや内容が分かりやすいよう配慮されている。</li></ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価〕	<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 活動のまとめりごとの単元構成で、指導の順序を柔軟に入れ替えられるようにしたり、他教科との合科的な指導のヒントを豊富に示したりするなどの配慮がされている。</li><li>(2) 各単元末に貼ることのできる「ジャンプシール」に、一人ひとりが思いを書き、それを交流することによって、よりよい生活に向けて願いや思いを実現していけるよう配慮されている。</li><li>(3) 試行錯誤の過程や問題解決の例が示されており、気付きの質が高められるよう児童の発言で深い学びが分かるよう配慮されている。</li><li>(4) 自分自身への気付きから、家族や地域の人たちへの相手意識をもった活動へと広がり、双方向的な交流活動が行われるよう配慮されている。</li><li>(5) 内容に即した多様なイラストや写真が多く掲載され、吹き出しが単元のねらいにそって掲載され、児童の意識の流れに合うよう配慮されている。</li><li>(6) 単元の展開「ステップ」の中に見つけたことを互いに伝え合う場面や単元のまとめ「ジャンプ」で活動の振り返りを伝え合う場面が新設されており、振り返りや表現できるよう配慮されている。</li></ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"><li>・単元導入場面で、学習のスタートからゴールまでを児童自身が見通せるよう学びを深めるホップ・ステップ・ジャンプの3段階構成になっている。</li><li>・活動の多様な例示や学びをつなぐ工夫や、学びを広げる資料などにより、幼児教育や中学年以降の教育との接続、他教科との関連に生かせるよう配慮されている。</li></ul>

(種目：生活 )

発行者名 採択基準	啓林館 (わくわくせいかつ)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"><li>• 基本的な知識及び技能の基礎や、挨拶、マナー、安全に関する事項を各種コーナーで学習できるよう工夫されている。</li><li>• 発達段階に応じて、表現活動が系統的に設定され、思考を深め、豊かな表現力が身に付くよう配慮されている。</li><li>• 自分のよさに気づいたり、自己肯定感が高まったりするよう、自分の成長を感じることができる学習活動が配慮されている。</li></ul>
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"><li>(1) スタートカリキュラムを位置付け、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿をふまえて、安心して学校生活が始められるよう、また、下巻末には「ステップブック」があり、中学年への接続を意識できるよう配慮されている。</li><li>(2) 上巻では「学校」を、下巻では「地域」を主として、活動例や学習対象が多様に紹介され、その中から学校や児童の実態に合わせて自由に選択できるよう工夫されている。</li><li>(3) 豊富な資料とともに、紙面右上の「こんなときどうしよう」のコーナーでは、単元の学習の中で予想される課題が示され、クラスの話し合いとして活用できるよう工夫されている。</li><li>(4) 単元の導入では、幼児期の育ちやこれまでの経験を基礎にし、児童の日常生活から単元が始まるよう配慮されている。</li><li>(5) 興味・関心を喚起する写真やイラストで、変化や作り方を示し、「がくしゅうずかん」では、自分で調べたり考えたり、学び方が身に付くよう配慮されている。</li></ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 季節に沿って単元が構成され、他教科との関連を踏まえながら活動が広がり、深まっていくよう配列が工夫されている。</li><li>(2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現していくことができるよう「めくり言葉」の設定などで配慮されている。</li><li>(3) 「見つける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」等の多様な学習活動や、思考錯誤したり繰り返したりして、何度も対象と関わる学習活動が配慮されている。</li><li>(4) 付箋等を活用してインタビューする項目をグループごとに考えたり、気付いたことをまとめたりする様子が示され、協働的な学習により気付きの質が高まるよう配慮されている。</li><li>(5) 写真やイラストを大きさや見せ方を変えて示したり、「わくわくボックス」のページがあつたりと児童の関心や意欲を引き出すよう工夫されている。</li><li>(6) 「できるかな できたかな？」コーナーでは、学習過程や成果を振り返り、自らの成長や学びの深まりが実感できるよう配慮されている。</li></ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"><li>• 単元は、「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で構成され、活動が広がっていくよう工夫されている。</li><li>• 単元は、児童の日常生活の思いや願いから始まり、活動を行うことで児童自身の気付きの質が深まっていくよう配慮されている。</li></ul>



(種目：生活 )

発行者名 採択基準	日本文教出版 (わたしとせいかつ)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 思いや願いを実現する過程において適切な習慣や技能を身に付け、その習慣や技能を活用できるよう工夫されている。</li><li>・ 気付いたことや考えたことをいろいろな方法で伝え合ったり、振り返ったりして表現することができるよう配慮されている。</li><li>・ 自分自身の変容や成長を捉え、自分自身のよさや可能性についても気付くことができるよう配慮されている。</li></ul>
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 〕	<ol style="list-style-type: none"><li>(1) スタートカリキュラムが盛り込まれ、幼児期での学びを生かして安心して学校生活を送ることができるよう配慮されている。</li><li>(2) 繰り返し関わりながら季節の変化に気づく学習活動や、地域の中で生活している人々と関わる学習活動等が工夫されている。</li><li>(3) 学習場面や「学びのまど」などにおいて伝え合う活動を生み出す話し合いや、その結果、新しい課題を見つけられるよう配慮されている。</li><li>(4) 単元ごとに「学習のめあて」が明示され、見る・聞く・触れる・作る・探す・育てる・遊ぶ等の直接働きかける学習活動を通して、具体的な活動や体験から考え行動することができるよう工夫されている。</li><li>(5) 淡いイラストや児童の表情を捉えた写真を使用することで、児童の学習意欲を引き出したり、巻末に必要な知識・技能・習慣が身に付くよう図鑑や資料を入れたりするなど配慮されている。</li></ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  〔 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 〕	<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 単元は「課題設定→活動→振り返り」という構成になっており、他教科との関連を踏まえながら十分な活動や体験が継続的に行われるよう工夫されている。</li><li>(2) 自分自身の生活を身近な社会や自然・人との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現できるよう配慮されている。</li><li>(3) 活動や体験の中で繰り返し活用して見に付けていくプロセスや振り返りの活動が位置付けられ、対象との関わりが深まり、気付きの質が高まっていくよう配慮されている。</li><li>(4) 単元末には振り返りの場を設け、友だちと活動したり見つけたことを比べたり伝え合ったりすることで、様々な気付きが生まれ学びが広がるよう配慮されている。</li><li>(5) ページを織り込むことで、植物の成長を確認する等、児童が実物を見なくなったり、実際に活動をしたくなったりするよう工夫されている。</li><li>(6) 児童が自分自身の取組や成長を振り返って、自信をつけていくことができるよう配慮されている。</li></ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 生活科で必要な気付きを促したり、引き出したりすることや、継続した活動ができるよう配慮されている。</li><li>・ 学んだことを自分自身の生活につなげたり生かしたりすることができるよう配慮されている。</li><li>・ 巻末に「ちえとわざのたからばこ」があり学習したことを思い出したりさらに調べたりして活用できるよう工夫されている。</li></ul>